

「河川技術・流域管理分野 提案型課題(地域課題)」
(令和4年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
掃流砂と浮遊砂の一体的扱いに基づく新たな浮遊砂の解析法の開発とそれを用いた安定な船底形河道の設計技術に関する研究	中央大学 後藤 岳久	A
<研究概要> 遠賀川では、治水と河川環境・景観の観点から優れた船底形河道への改修が行われてきた、一方で、高水敷と低水路の境界付近への細粒土砂の堆積が課題となっている。本研究では、掃流砂と浮遊砂の非平衡運動を一体的に扱いながら、流砂の3次元運動を計算可能とする洪水流・河床変動解析法を開発する。これにより、高水敷と低水路の境界付近の細粒土砂の堆積機構を明らかにし、安定で管理のしやすい船底形河道の設計技術を検討した。		
<事後評価コメント> A評価のためコメントなし		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった。
B: 一定の研究成果があった。
C: 研究成果があったとはいえない。